

## 幼児教育・保育科 17名がネイチャーゲームリーダーになりました

「子どもと生活」の一環で、幼児教育・保育科の17名が、ネイチャーゲームリーダーになりました。ネイチャーゲームは、1979年にアメリカのナチュラリスト、ジョセフ・コーネル氏によって発表された自然体験プログラム。様々なアクティビティを通して、自然の不思議さや仕組みを学び、自然と自分が一体であることに気づくことを目的としています。そしてネイチャーゲームリーダーは、「ネイチャーゲーム活動を通して、身近な子どもや大人に自然を案内する人」のことです。

講座を通して、リーダーは「教えるよりも、分かちあう」姿勢が何よりも大切であることを学びました。他にも保育者の姿勢・態度に通じることがあり、また、保育現場での研修や子どもとの活動の事例を沢山お伺いし、早く子ども達と一緒に活動したいという気持ちになりました。

玉虫やモミジの種を見つけた時には「初めまして」の人も多かったのですが、何もないと思っていた大学の中に、自然がいっぱいあることに気づきました。また、木陰や川べりの風の心地良さを感じたり、ハトの巣が毎日増築されて大きくなっていることに気づいたり・・・自分の感覚や観察力の変化にも気づきました。

\*ネイチャーゲームリーダーは、公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会が認定する資格です。本学は、ネイチャーゲームリーダー課程認定校です。



